

令和3年4月1日
(公財)日本中学校体育連盟

令和3年度 (公財)日本中学校体育連盟
全国中学校体育大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン

本ガイドラインは、「学校の新しい生活様式」(文部科学省)、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(スポーツ庁)及び「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(日本スポーツ協会・日本障がい者スポーツ協会)、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室からの情報等を踏まえて、現段階で得られている知見等に基づいて作成しています。

今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により、隨時見直すことがあり得ることに御留意ください。

1 大会実施に当たっての基本的な考え方について

大会の実施に当たっては、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」(文部科学省)を踏まえ、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(スポーツ庁)、「スポーツイベント再開に向けた感染予防ガイドライン」(公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会)、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室からの情報等を参考に、今後の全国中学校体育大会実施に当たっての基本的な考え方に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じることとします。

【大会実施に当たっての基本的な考え方】

- (1) 感染源を絶つ
- (2) 感染防止の3つの基本
 - 身体的距離の確保 ○ マスクの着用 ○ 手洗い等の徹底
- (3) 3つの「密」(密閉空間、密集場所、密接場面)の回避
- (4) 安全な活動環境等の確保

2 大会実施時の感染防止策について

(1) 感染源を絶つ

- 実行委員会は、風邪の症状(発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等)がある選手や引率者等は、大会に参加させないことを徹底する。
- 実行委員会は、各校の選手及び引率者等の大会前後2週間分(計約4週間分)の体調を記録した体調記録表【様式1】の記録を求め、健康管理を徹底する。

- 実行委員会は、大会当日受付時等に、学校同行者体調記録表【様式2】を提出させ、選手や引率者等の体調を確認するとともに、大会中、選手や引率者等に体調不良がある場合は、大会本部に申し出るよう場内アナウンス等で確認を促す。
- 実行委員会は、学校同行者体調記録表【様式2】に記載された者以外の来場者に対し、来場者体調記録表【様式3】に、氏名・年齢・住所・連絡先（電話番号）・検温した体温・来場前2週間におけるア：平熱を越える発熱、イ：咳や喉の痛みなど風邪の症状、ウ：だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）、エ：味覚や嗅覚の異常、オ：過去14日以内に政府から入国制限や入国後の観察期間を必要とされている国や地域などへの渡航歴及び当該在住者との濃厚接触の有無の確認と、来場後2週間以内に新型コロナウィルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告することを確認する。
- 引率者等は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食時、解散時等、こまめに、選手の体調不良の有無を確認する声かけを行うなど、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底する。
- 実行委員会及び引率者等は、大会中に、選手等の体調不良を確認した場合、大会救護係や医療機関及び保護者等と連携し、当該選手の体調を確認するとともに、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。（3に詳細）

（2）感染防止の3つの基本

ア 身体的距離の確保

- 原則開会式等は実施しない。また、抽選会は、必要最小限の人数によって代理抽選とする。
- 実行委員会は、監督者会議等を実施する場合、人と人との間隔が、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、椅子の配置を広くするなどの工夫をする。
- 引率者等は、集合時、待機中、休憩中及び食事中などにおいて、選手同士の間隔が、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くように指導する。
- 実行委員会及び引率者等は、対戦相手や審判等との握手、仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣、ハイタッチなどの実施を制限する。

イ マスクの着用

- 実行委員会は、選手、引率者等及び大会関係者に、マスク等を準備させ、大会中は、競技等実施時及び食事中等を除いて、基本的にマスク等を着用し、咳エチケットを徹底するよう指示をする。ただし、活動中や気候の状況等より、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すよう選手に指導する。
- マスク等を着用して運動を行う場合には、同じ運動であっても、身体へ高い負荷がかかり、低酸素症や熱中症などのリスクが高まるため、引率者等は、会場の気温や湿度に注意しながら、選手の健康観察を行うとともに、こまめに給水をさせる。その際、給水用のコップ等を共用させない。

ウ 手洗い等の徹底

- 実行委員会は、選手、引率者等及び大会関係者が、こまめに手洗いを行えるよう、利用する施設と連携し、手洗い場に十分な量の石けん等を設置するとともに、場内アナウンス等で、選手や引率者等に手洗いを促す。
- 実行委員会は、手洗い場等に「手洗いは30秒以上」の掲示をする。参加者には、事前に手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参するよう周知徹底する。
- 引率者等は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食前後、解散時等、こまめに、流水と石けんで手洗いを行うよう、選手に指導する。

(3) 3つの「密」(密閉空間、密集場所、密接場面)の回避

- 試合会場への入場は、登録された選手、引率者等及び大会関係者(原則選手1名につき保護者1名)のみとし、出場選手として登録されていない部員やマネージャーの入場については、利用する会場や施設の状況、各専門部の加盟生徒数等を考慮し判断する。
- 実行委員会は、試合会場を複数設けるなどし、選手、引率者等の会場への移動が短縮できるよう工夫する。
- チームでまとまって会場へ移動する場合、引率者等は、バス等の車内が、密閉空間にならないよう、運転手と連携し定期的に換気をしたり、1台に乗車する人数を減らしたりするなどの工夫をする。
- 実行委員会は、更衣室で選手が密集しないよう、一度に利用できる人数を制限し明示する。また、更衣室内に選手同士の間隔ができるだけ2メートル(最低1メートル)空くように目印テープを貼付するとともに、更衣室の換気扇を常時運転したり、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。
- 実行委員会は、屋内で実施する競技において、会場内で人が密集しないよう、一度に会場に入る人数や学校数等を制限するなどの工夫をする。
- 実行委員会は、屋内で実施する競技において、1時間に2~3回程度、会場のドアや窓を開け換気を行うなどの工夫をする。その際、試合会場の窓等の開閉が困難な場合は、利用する施設と連携し、換気設備を適切に運転する。この場合においても、1時間に2~3回程度、会場の入口等を開け換気を行うなどの工夫をする。
- 実行委員会及び引率者等は、試合会場のベンチや食事をする場所について、できるだけ2メートル(最低1メートル)空くよう、選手同士の間隔を取らせ、対面を避け、会話を控えるよう指導する。

(4) 安全な活動環境等の確保

- 試合に関わる全ての者(大会役員、審判、指導者、選手)は、大会前後2週間分(計約4週間分)の行動を、行動履歴書【様式4】に記録する。
- 実行委員会は、参加校に対し大会の主旨、感染拡大予防ガイドラインを周知徹底する。顧問等は、大会に参加する選手及び保護者に対し、参加に当たっての注意事項等を事前に説明し、同意書【様式5】を提出させる。その際、大会申込期日までに定期健康診断の実施が行なわれていない学校の生徒については、各自で健康診断を

受診するなど保護者の責任のもと健康上問題がないことを確認したうえで参加させる。

- 試合会場へ入場する保護者については、来場者体調記録表【様式3】を記録の上、来場ごとに開催実行委員会に提出する。
- 選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意向聴取等が求められることも想定し、引率者や学校等と保護者が確実に、速やかに連絡がとれる体制を構築しておく。
- 社会体育施設を利用して大会を実施する場合は、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(スポーツ庁)に則り運営する施設を選定し、感染拡大予防対策について、事前に施設と打合せを行う。
- 実行委員会及び引率者等は、別紙「全中大会実施時の感染防止対策チェックリスト」例を参考に、各部活動の実態や各競技特性に応じた、適切な感染防止策を講じる。

3 大会実施時の体調不良者発生時の対応について

(1) 入場時、受付時の体調不良者発生時の対応について

- ・ 体調記録表の提出内容を以下のポイントで確認。

＜確認ポイント＞

- 発熱や風邪の症状の有無
- 当日の検温記録、体調記録表の記入漏れの有無
- ・ 確認ポイントにおいて症状や記入の不備がある場合は、入場、受付を取りやめる。記入の不備については、不足項目の確認(検温)を行う。
- ・ 体調不良者(例:発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など)または症状が確認された者については、実行委員会に報告の上、帰宅(または帰宿)を促し、各自医療機関を受診するよう伝える。

(2) 入場後、競技会期間中の体調不良者発生時の対応について

- ・ 選手団内において、体調不良者(例:発熱、咳、喉の痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など)が確認された場合は、各都道府県選手団本部役員等に報告を行う。
- ・ 選手団本部役員は、状況を実行委員会に報告し、緊急性も含め、救護所の医師らの指示に従う。
- ・ 診察の結果、新型コロナウイルス感染が疑われる場合は、速やかに医療機関や保健所の指示に従い、適切に対応する。

(3) 症状があり帰宅を促す際の対象者への案内

- ・ 体調記録表に挙げられた項目の症状が4日以上続く場合は、必ず最寄りの保健所、診療所等に報告・相談する。
- ・ 症状が続かなくとも、弱い症状だと思う場合も同様、最寄りの保健所、診療所等に報告・相談する。

4 大会開催可否判断について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、以下の状況となった場合、臨時に理事会を開催し、大会開催可否について検討する。その結果、必要に応じて開催全国競技団体・開催都道府県教育委員会・開催都道府県実行委員会で協議する。

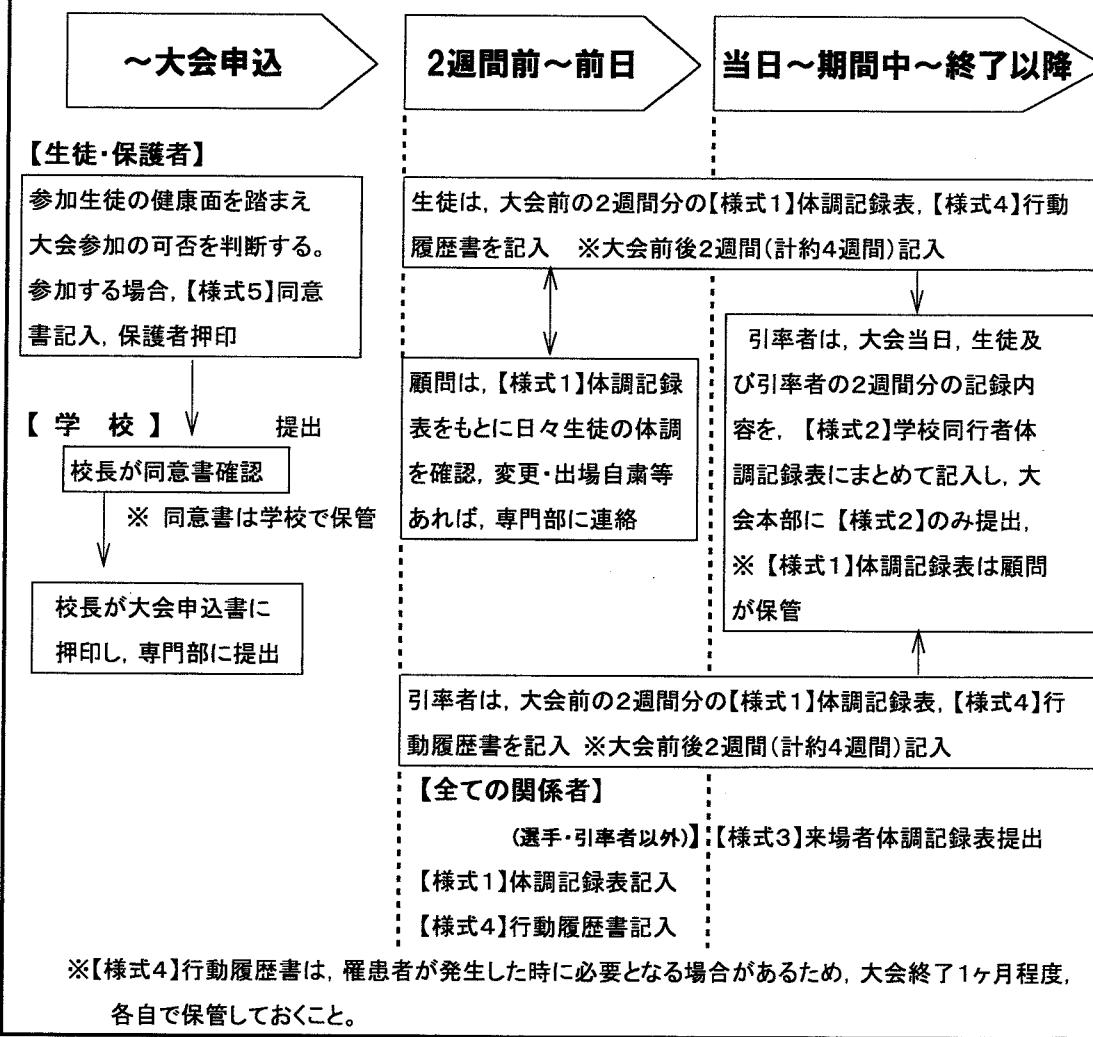
- 新型インフルエンザ等特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令された場合
- 競技会開催地である自治体(都道府県)独自の緊急事態宣言等の発令またはイベント開催自粛要請がされた場合
- 開催都道府県内医療機関の新型コロナウイルス感染症患者受け入れが対応不可となった場合
- 都道府県予選会の開催が困難な場合(当該大会の予選会の 2/3 程度が実施に影響を生じたとき)
- 競技会に参加している者及び競技運営に係る者に新型コロナウイルス感染症感染者が発生し、競技運営に支障をきたす、またはその可能性が想定される場合
- その他新型コロナウイルス感染症に起因する事象により大会の開催が困難と想定される場合

令和3年5月14日 理事会決定

様式一覧

- 【様式1】【様式1-2】体調記録表
- 【様式2】学校同行者体調記録表
- 【様式3】来場者体調記録表
- 【様式4】【様式4-2】行動履歴書
- 【様式5】同意書
- 実行委員会用チェックリスト
- 選手・引率者用チェックリスト

大会参加までの流れ(フロー図)



【様式1】

体調記録表

所属(

)

氏名()

◎自身の体調について、素直に申し出るようにしてください。体調の異変を感じた際は、早めの相談や受診をお願いします。

	月 日	曜日	体温 °C	体調について(各項目の□に✓をすること)
1	月 日		°C	<input type="checkbox"/> せき、のどなどの痛みなど風邪の症状はない <input type="checkbox"/> 体のだるさ、息苦しさはない <input type="checkbox"/> 味覚や嗅覚(きゅうかく)の異常はない
2	月 日		°C	<input type="checkbox"/> せき、のどなどの痛みなど風邪の症状はない <input type="checkbox"/> 体のだるさ、息苦しさはない <input type="checkbox"/> 味覚や嗅覚(きゅうかく)の異常はない <input type="checkbox"/> せき、の
3	月 日		°C	<input type="checkbox"/> どなどの痛みなど風邪の症状はない <input type="checkbox"/> 体のだるさ、息苦しさはない <input type="checkbox"/> 味覚や嗅覚(きゅうかく)の異常はない
4	月 日		°C	<input type="checkbox"/> せき、のどなどの痛みなど風邪の症状はない <input type="checkbox"/> 体のだるさ、息苦しさはない <input type="checkbox"/> 味覚や嗅覚(きゅうかく)の異常はない
5	月 日		°C	<input type="checkbox"/> せき、のどなどの痛みなど風邪の症状はない <input type="checkbox"/> 体のだるさ、息苦しさはない <input type="checkbox"/> 味覚や嗅覚(きゅうかく)の異常はない
6	月 日		°C	<input type="checkbox"/> せき、のどなどの痛みなど風邪の症状はない <input type="checkbox"/> 体のだるさ、息苦しさはない <input type="checkbox"/> 味覚や嗅覚(きゅうかく)の異常はない
7	月 日		°C	<input type="checkbox"/> せき、のどなどの痛みなど風邪の症状はない <input type="checkbox"/> 体のだるさ、息苦しさはない <input type="checkbox"/> 味覚や嗅覚(きゅうかく)の異常はない
8	月 日		°C	<input type="checkbox"/> せき、のどなどの痛みなど風邪の症状はない <input type="checkbox"/> 体のだるさ、息苦しさはない <input type="checkbox"/> 味覚や嗅覚(きゅうかく)の異常はない
9	月 日		°C	<input type="checkbox"/> せき、のどなどの痛みなど風邪の症状はない <input type="checkbox"/> 体のだるさ、息苦しさはない <input type="checkbox"/> 味覚や嗅覚(きゅうかく)の異常はない
10	月 日		°C	<input type="checkbox"/> せき、のどなどの痛みなど風邪の症状はない <input type="checkbox"/> 体のだるさ、息苦しさはない <input type="checkbox"/> 味覚や嗅覚(きゅうかく)の異常はない
11	月 日		°C	<input type="checkbox"/> せき、のどなどの痛みなど風邪の症状はない <input type="checkbox"/> 体のだるさ、息苦しさはない <input type="checkbox"/> 味覚や嗅覚(きゅうかく)の異常はない
12	月 日		°C	<input type="checkbox"/> せき、のどなどの痛みなど風邪の症状はない <input type="checkbox"/> 体のだるさ、息苦しさはない <input type="checkbox"/> 味覚や嗅覚(きゅうかく)の異常はない
13	月 日		°C	<input type="checkbox"/> せき、のどなどの痛みなど風邪の症状はない <input type="checkbox"/> 体のだるさ、息苦しさはない <input type="checkbox"/> 味覚や嗅覚(きゅうかく)の異常はない
14	月 日 (大会前日)		°C	<input type="checkbox"/> せき、のどなどの痛みなど風邪の症状はない <input type="checkbox"/> 体のだるさ、息苦しさはない <input type="checkbox"/> 味覚や嗅覚(きゅうかく)の異常はない

【様式1-2】

【様式2】

令和 年 月 日

NO

学校同行者体調記録表

学校名() 引率者氏名()

- ① 平熱を超える発熱(概ね37度5分以上) ② 咳(せき), のどの痛みなど風邪の症状
 ③ だるさ(倦怠感), 息苦しさ(呼吸困難) ④ 味覚や嗅覚の異常

NO	氏 名	本日の 体温 (°C)	体調記録表(2週間の間)において、異常がなければ各項目に✓をすること。				
			①	②	③	④	備考
引率者		.					
引率者		.					
1		.					
2		.					
3		.					
4		.					
5		.					
6		.					
7		.					
8		.					
9		.					
10		.					
11		.					
12		.					
13		.					
14		.					
15		.					
16		.					
17		.					
18		.					
19		.					
20		.					
21		.					
22		.					
23		.					
24		.					
25		.					

※枠が不足する場合は、用紙を追加してください。

【様式3】

来場者体調記録表

所属(

) 氏名(

)

1 記入事項

※ 個人情報取得については、大会終了後に参加者から新型コロナウイルス感染の報告を受けた場合に必要となる拡大予防対策措置のためあり、その目的の達成に必要な範囲内で使用します。なお、主催者側で1か月程度保管し、その後は破棄します。

- (1) 以下の事項に該当する場合は、自主的にご参加を見合わせてください。
- ① 体調がよくない(例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - ② 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある
 - ③ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
 - ④ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

該当しない・該当する

(2) 連絡先等

氏名() 年齢()歳

住所()

電話番号()

(3) 本日の体温()℃

(4) 前2週間における以下の事項の有無(いずれかに○をしてください。)

- ① 平熱を超える発熱(概ね37度5分以上) 有・無
- ② 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状 有・無
- ③ だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難) 有・無
- ④ 臭覚や味覚の異常 有・無
- ⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等 有・無

2 確認事項

- (1) マスクを着用すること(受付参加時や着替え時の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること。)。
- (2) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (3) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること(障害者の誘導や介助を行う場合を除く。)。
- (4) 大会開催中に大きな声で会話、応援等しないこと。
- (5) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- (6) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (7) 大会関係者は行動履歴書を記載し、感染者発覚の際は濃厚接触者特定のために必要となる場合もあるため、大会終了後も1ヶ月程度保管しておくこと。
- (8) その他

(各競技の特性上注意することとして確認しておきたいことを記入する。)

【様式4】

NO		行動履歴書			
		所属()		氏名()	
No	月 日	曜日	行 先	滞在期間	接触者
記入例	○月 ○日	○	○○ 学校 ○○ 塾	8:30~10:30 19:00~21:00	○○先生、生徒3名 ○○先生、塾生5名
1	月 日				
2	月 日				
3	月 日				
4	月 日				
5	月 日				
6	月 日				
7	月 日				
8	月 日				
9	月 日				
10	月 日				
11	月 日				
12	月 日				
13	月 日				
14	月 日				

※ 罹患者が発生した場合、本人が発症2日前から現時点での行動歴を明らかにすることが重要です。試合に関わる全ての者は試合開催2週間前から記録をしておくこと。

※ 大会終了後、2週間は継続記載し、1ヶ月程度は各自で保管しておくこと。

【様式4-2】

15	月 日				
16	月 日				
17	月 日				
18	月 日				
19	月 日				
20	月 日				
21	月 日				
22	月 日				
23	月 日				
24	月 日				
25	月 日				
26	月 日				
27	月 日				
28	月 日				
29	月 日				
30	月 日				
31	月 日				

【様式5】保護者から校長へ提出(学校が保管しておく)

同 意 書

日本中学校体育連盟 ならびに

学校名 _____

校長名 _____ 様

私は日本中学校体育連盟全国中学校体育大会 _____ 競技に
参加するにあたり、健康上の問題はありません。また、同大会の開催要項、日本
中学校体育連盟全国中学校体育大会実施上の感染拡大予防ガイドラインに従
い同大会に参加することを同意します。

令和 年 月 日

参加者名 _____

保護者名 _____ 印

※ 参加者が生徒の場合は保護者も署名捺印してください。

「全中大会実施時の感染防止対策チェックリスト」例 【実行委員会用サンプル】

<input type="checkbox"/>	感染防止対策について、施設と事前打ち合わせを行っている。
<input type="checkbox"/>	感染防止対策について、運営スタッフと事前打ち合わせを行った。
<input type="checkbox"/>	大会関係者全員の健康状態について確認を行った。
<input type="checkbox"/>	会場内の巡回・確認について、運営スタッフのローテーションを作成し周知している。
<input type="checkbox"/>	会場入り口等に手指消毒薬等を設置している。
<input type="checkbox"/>	手洗い場に石けんを準備するとともに、丁寧な手洗いの方法に関する資料等を掲示している。
<input type="checkbox"/>	更衣室は、一度に入室できる人数を入口付近に明示している。
<input type="checkbox"/>	更衣室の床に、生徒同士の間隔を取るための目印テープを貼付するとともに、換気が行われている。
<input type="checkbox"/>	試合中、チームが使用するベンチ等は、十分間隔が空いている。
<input type="checkbox"/>	一度に会場に入れる人数や学校数等を制限している。
<input type="checkbox"/>	広さにゆとりのある食事場所を、参加校に指定している。

「全中大会実施時の感染防止対策チェックリスト」例 【選手・引率者等用サンプル】

<input type="checkbox"/>	試合2週間前からの自身の行動履歴を記録している。
<input type="checkbox"/>	風邪の症状(発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等)はない。
<input type="checkbox"/>	朝、検温を実施し、発熱が無いことを確認している。
<input type="checkbox"/>	マスクを準備している。
<input type="checkbox"/>	タオルやハンカチを準備している。
<input type="checkbox"/>	会場に移動する際、感染防止対策を講じている。
<input type="checkbox"/>	手洗いを実施する。 (会場到着時・更衣前後・試合前後・食事前後・解散時 等)
<input type="checkbox"/>	更衣室が密集しないよう、適切に使用している。
<input type="checkbox"/>	常に、自校や他校の生徒、大会関係者等との距離を、できるだけ2メートル(最低1メートル)確保している。
<input type="checkbox"/>	給水するためのコップ等を共用しない。
<input type="checkbox"/>	食事の際、間隔を取って座り、対面を避け、会話は控える。

全国中学校体育大会における危機管理・避難等について(令和3年度)

(公財)日本中学校体育連盟事務局

1 基本的な内容は、本連盟策定の「災害等緊急対応要項基準」(平成20年6月理事会決定)による。

2 開催都道府県中体連及び各開催地実行委員会は、次の点についての事前確認及び準備をしておく。また、必要な情報は大会役員・監督(引率者)・出場者等に事前に広報する。

- ・開催都道府県教委及び開催地教委が定めている気象関係の警報・注意報等への対応策
- ・指定宿泊先への情報提供方法の確認とその方法の宿泊者への周知策
- ・大会会場及び宿泊所周辺の避難場所の地図
- ・開催地のハザードマップ
- ・開催地周辺の気象状況、交通機関状況を提供してくれるホームページ等の情報
- ・開催地のラジオ放送局の周波数

- ・生徒役員の安全確保策及びその事前指導

※生徒役員の保護者への周知・連絡

●各会場の安全対策担当者との事前打合せを行い、会場側からの説明を受けておく。

●緊急地震速報が発令された時の対応は、次の通りとする。※Jアラート発令時も同様

- ① 試合等、生徒たちの動きを止める。
- ② 会場内外の役員、観客にも知らせて、自席での待機を求める。
- ③ 避難が必要になった時は、実行委員会で誘導することを伝える。

3 各会場においての準備・対策

- ・監督会議、審判会議、競技部会、開会式等の場で、避難方法・避難場所等の説明・確認
- ・選手、応援者等の避難誘導経路の事前確認 → 大会役員及び競技役員全員への周知
- ・各非常口への誘導員配置計画とその確認 → 担当者不在時に避難路がわかる工夫等も
- ・防火シャッター、ガスの安全装置、配電盤、AED、消火器等の場所及び操作法の確認
→ AEDについては、会場図に設置場所を明記すること。
- ・天井等からの落下物、ロッカー・自販機等の転倒の危険性について確認

4 開催地実行委が各会場にて準備すべき物 (例示)

- 乾電池用拡声器 乾電池 携帯ラジオ 携帯電話用充電器(太陽光、乾電池等)
用紙 マジックインク セロテープ 軍手 ガムテープ ブルーシート
飲料水(ペットボトル) 外傷用医療薬品 携帯可能なノートパソコン <保存食>
- ※全てを新たに購入する必要はない。現在ある物を活用する。

5 各競技会場において用意(準備)できると望ましい熱中症対策

(1) 屋外競技

- ① 競技別開会式を空調設備のある体育館や会館で実施
- ② テントの設置
- ③ 競技時間を早める措置
- ④ 猛暑時刻の市居合いを回避
- ⑤ 競技中における給水時間。休憩時間の設定
- ⑥ 医療スタッフの配置(医師もしくは看護師)

(2) 屋内競技

- ① 医療スタッフの配置(医師もしくは看護師)
- ② 試合中の給水時間の設定

(令和2年3月6日 理事会追加)

6 連絡先一覧表作成と配付

- ・開催都道府県中体連会長・理事長・事務局長
- ・開催地実行委員会責任者
- ・各ブロック及び各都道府県競技部の連絡責任者 → 各都道府県内への連絡網
- ・日本中体連専務理事・事務局長
- ・開催都道府県教委連絡責任者
- ・開催地教委連絡責任者
- ・関係競技団体連絡責任者

- ・大会会場連絡責任者
- ・担当旅行業者連絡責任者
- ・その他（医療関係者、医療機関）

※上記の者の携帯電話番号等の一覧及び情報の流れを示す印刷物を準備する。

※個人情報保護の観点から、この一覧表は関係者以外には配付しないように注意する。

9 引率・監督

- (1) 参加生徒の引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員※1とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、「参加申込書」の監督者及び引率者の欄に指示されている印を付け、必要事項を記入する。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。
- ※1 ここでいう「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。以下同じ。
- (2) 全国大会では外部指導者（コーチ）をおくことができる。外部指導者（コーチ）は、出場校の校長が認めた者とし、所定の「外部指導者（コーチ）確認書（校長承認書）」に必要事項を記入し、大会事務局に参加申込み時に提出する。但し、当該校以外の中学校教職員は、外部指導者（コーチ）にはなれない。また、同一人が複数校の外部指導者にはなれない。（水泳飛び込み、体操競技、新体操、卓球（アドバイザー）、スケート、スキー、アイスホッケーは、この項省く）
- (3) 全国大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者（コーチ）、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者からの懲戒処分を受けていない者であることとしている。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。
- (4) 全国中学校体育大会の個人競技の参加について、校長・教員・部活動指導員が引率できず校長がやむを得ないと判断した場合に限り、「全国中学校体育大会引率細則」により、校長が引率者として承認した外部指導者（コーチ）の引率を認める。

「全国中学校体育大会引率細則」

本細則が適用されるのは、学校事情により、校長・教員・部活動指導員が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合に限るもので、安易に引率者として外部指導者（コーチ）の引率を認めるものではない。

- (1) 引率者としての外部指導者（コーチ）の規定
- ①当該校の校長が認めた20歳以上の成人であり、日頃から指導に当たっている者をいう。なお、事前に校長との間で外部指導者（コーチ）としての契約がなされていること。
- ②引率者としての外部指導者（コーチ）は、各大会の申込用紙の引率外部指導者（コーチ）欄に必要事項を記入すること。
- ③引率者としての外部指導者（コーチ）に規定違反、不適切な言動等があったときは、不適格者として都道府県中学校体育連盟会長または競技部長（専門委員長）から当該校の校長に連絡し、資格を取り消す。
- ④この規定以外のこととは、各競技専門部の規定及び大会要項の通りとする。
- (2) 引率者としての外部指導者（コーチ）の引率を認める個人競技は、次の12競技とする。但し、団体戦は該当しない。
- ①陸上競技 ②体操競技 ③新体操 ④卓 球 ⑤柔 道 ⑥剣 道
⑦水泳競技 ⑧バドミントン ⑨相 摂 ⑩ソフトテニス ⑪スキー
⑫スケート
- ◎陸上競技・水泳競技のリレーは、個人種目として取り扱わない。
◎ソフトテニスはダブルスのみなので、個人種目として取り扱う。
- (3) 引率者としての外部指導者（コーチ）には、監督の資格を認めない。
- ①その際の監督は、当該校の校長と当該中学校体育連盟競技専門部が協議し、当該校の校

長が監督を受けた教員の所属長（校長）と本人に文書で依頼する。

②手続きは、様式7, 8, 9, 10, 11をもって行う。

(4) 生徒の大会出場に関する全責任は、校長が負う。

(5) 引率上の留意点及び大会会場においての留意点

①引率上の留意点等

ア 引率時は、公の交通機関を利用する。

イ 外部指導者（コーチ）は任意の傷害保険等に加入する。加入手続きは外部指導者（コーチ）が行い、費用は原則として自己負担とする。

ウ 引率にかかる外部指導者（コーチ）の費用は、原則として自己負担とする。

エ 生徒の服装、持ち物等については、各学校のきまりに従う。

オ 大会の結果と帰校報告を、帰宅後、直ちに行う。

カ 宿泊する場合は、学校（大会本部）より指示された宿舎とする。

キ その他、引率に必要な事項を指導する。

②大会会場においての留意点等

引率者は次のことに留意する。特に引率者として相応しくないと大会本部が判断した場合は退場を命ずる。生徒は失格となることもある。

ア 大会要項を順守し、責任ある行動をとる。

イ 各競技会場の使用上のきまりに従う。

ウ 競技上の抗議及び問い合わせは、校長が依頼した監督に連絡をとる。

エ ゴミ等は持ち帰りを原則とするが、会場使用規定に従う。

※この細則は平成14年4月1日より施行する。（監督者報告書・依頼書・承諾書 様式7～様式11）